

セクシュアリティに関する悩みは家族など身近な人ほど話しにくいものです。「学校には自分の存在を認めてくれる場所がある」と思えることは、大きな救いになります。(20代後半 トランスジェンダー)

本気で私のことを思い、大切にしてくれた先生がいたから安心して登校できるようになりました。先生の思いが伝わっている子どもは必ずいます。(20代後半 トランスジェンダー)

当事者の子どもの悩みの深さに初めて気づきました。振り返ってみれば、確かに思い当たる子どももいます。でも、当時の私はあの子の本当の悩みに気づいてあげられませんでした。子どもたちと毎日接しているすべての教師が必ず知らなければいけないことだと思います。(岡山県内小学校教師)

もし性的マイノリティの子どもから相談を受けたら、まず「よく話してくれたね」と子どもの勇気を受け止め、私という人間を信じて話してくれたことに「ありがとう」と言いたい。他の相談の時と同じように、こちらから決めつけず、急かさず、否定せず、子どもの思いをしっかりと聴くことが大切だと思います。(岡山市内小学校教師)

性的マイノリティの子どもたちは特別扱いを望んでいるわけではないと思う。すべての教師は、子どもが心身ともに豊かに成長することを願っているはず。ならば、これまでの自分たちのあり方を振り返って反省すべきところはしっかり反省し、一人ひとりの子どもを大切にするという教師として当たり前のことを、これからもしっかりとやっていかなければならないと思う。(岡山市内中学校教師)

学校現場を主とする性的マイノリティ支援啓発事業～教職員、児童・生徒から地域社会への啓発に向けて～
(平成28年度岡山市市民協働推進モデル事業)

実施団体/プライド岡山(岡山県内で活動する当事者団体) 協働課/岡山市教育委員会事務局指導課

先生に知ってもらいたい多様な性



平成28年度 岡山市市民協働推進モデル事業
プライド岡山 × 岡山市教育委員会事務局指導課

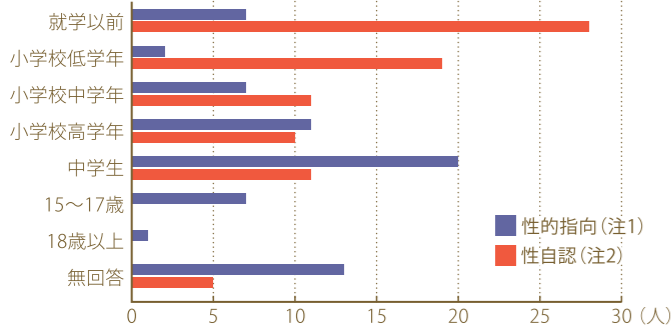
性的マイノリティは 13人に1人※ 40人のクラスに約3人の割合です

子どもたちの声を聞いてください

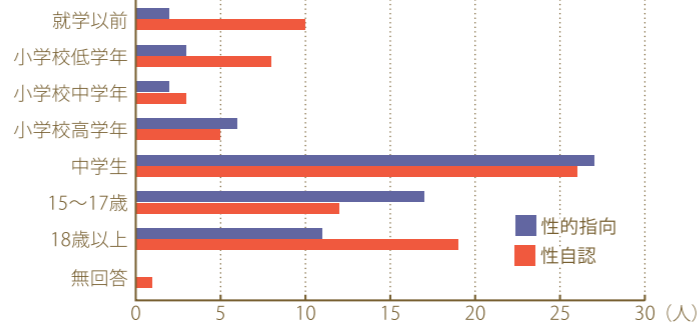
※データの詳細は5ページ

【主に岡山県内の性的マイノリティを対象とした学校生活に関するアンケート調査】報告
平成27年度岡山市市民協働推進ニーズ調査事業(事業者:プライド岡山 事業協働課:岡山市教育委員会事務局指導課)
■回答者:10代以上の性的マイノリティ当事者 ■有効回答:152 ■調査期間:2015年12月20日から2016年1月31日

Q1 自分は周りの人と何か違う、といったような違和感を持つようになった時期は?



Q2 自分はLGBTであると捉えるようになった時期は?



(注1) 自分の悩みや違和感は性的指向に関することであると感じている人
(注2) 自分の悩みや違和感は性自認に関することであると感じている人

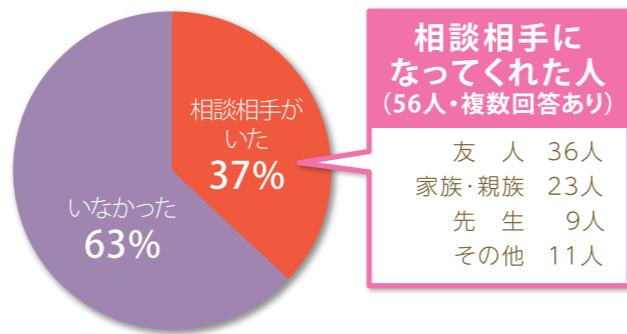
自己肯定感を育みにくい

性的マイノリティ当事者が「自分は友だちとどこか違う」と感じ始めるのは、早い人では就学以前ですが(Q1)、それが「LGBT」に関わることで気づくまでには時間がかかり、中学生以後になることが多いようです(Q2)。

気づいた後も、自分自身を受け入れられなかったり、嫌悪感を持ったりすることがあります。

正しい情報やロールモデルが得られず、家族にもなかなか打ち明けられないため(Q3)、幼い頃から精神的な孤立感に苦しむ人もいます。

Q3 身近な相談相手は?



自分でも受け入れられず、このことに対して気持ちを閉ざしていた。(20代後半 トランスジェンダー)

同性と付き合い先の未来が見えず、どう生きればいいのか分からなかった。(20代後半 レズビアン)

親にも言えず一人で苦しみを抱え込んでいた。(30代 Xジェンダー)

この気持ちが恋愛感情なのかどうか確信が持てず、勘違いだと思おうとしていた。(20代後半 ゲイ)

自分のことが自分でもわからない
受け入れられない
誰にも言えない
将来が見えない



性的マイノリティへの周囲の誤解や偏見に傷つく。友だちに知られるのが怖くて常に不安。

授業中に先生が同性愛をからかうようなジョークを言い、クラス中がそれに反応して笑った。(20代後半 ゲイ)



「身体の性と心の性は一致して当然、異性愛が当たり前」という授業の内容や周囲の雰囲気、「女らしさ」「男らしさ」の強制が苦しい。

授業で「異性を愛するのは自然なこと」と教えられ、自分は異常なんだと思って悲しくなった。(20代前半 レズビアン)

「男は男らしく」「女は女らしく」という考えを押しつけられるのがつらかった。(20代前半 トランスジェンダー)

授業中に先生から私の結婚観を根掘り葉掘り聞かれて答えに窮した。周囲からは失笑がもれ、いたたまれなかった。(30代 ゲイ)

「彼女いないの?」「彼女つくれよ」「男は仕事して嫁をもらって家庭をもって…」という話が出るたびにつらかった。(20代後半 バイセクシュアル)

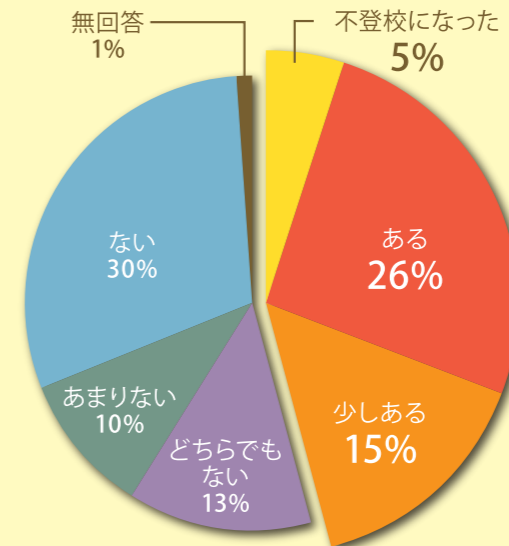
友だちが「レズきもい」「オカマきもい」などと言うのが聞こえてきた。(10代後半 レズビアン)

「変態」「気持ち悪い」とよく言われた。(30代 Xジェンダー)

ゲイやホモなどが気持ち悪いもののようにネタにされているのが嫌だった。(10代後半 ゲイ)

友だち同士で「あいつはゲイだろ」という噂話になるたび「自分のことも知られたのか」と不安になった。(20代前半 バイセクシュアル)

Q4 「学校へ行きたくない」と思ったことは? (注3)



自分の性別を意識させられることや、自分の身体を見られる場面などが苦痛。(特に性別違和感がある人)

体育祭や身体測定などで上半身裸になるのは本当に嫌だった。(20代前半 Xジェンダー)

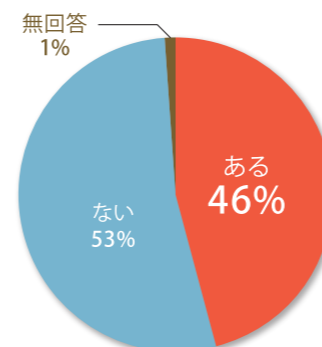
トイレに入ることができず、授業中ひとりの気のない場所にあるトイレまで走っていたのがすごく惨めだった。(10代前半 Xジェンダー)

制服のスカートや水着はとても苦痛だった。(20代前半 トランスジェンダー)

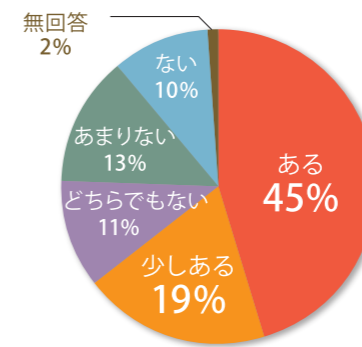
制服、トイレ、身体計測、体育、水泳、着替え、運動会、宿泊学習、自己紹介、プリントやテスト・掲示物などに書く自分の名前などで困った。(10代前半 トランスジェンダー)



Q5 自傷行為をしたことがある?



Q6 「生きているのがつらい」と思ったことは? (注4)



集団生活で抱える悩み

学校では、周囲の人たちの言動に含まれる性的マイノリティへの誤解や偏見に傷つき、自分のセクシュアリティを知られることを恐れ、自ら孤独を選ぶ人もいます。「人は男か女かに二分でき、それぞれ身体の性と同性自認をもち、「らしい」服装や振る舞いをし、異性を好きになる」ことが当たり前という固定観念の押しつけも当事者の自尊感情を傷つけています。

性別違和感がある人は、出生時の性別で生活せざるを得ない日常に大きな悩みを抱える人が多いようです。

(注3・4)「セクシュアリティに関することが原因である」ことを前提とした。

このアンケート結果の詳しい報告書はプライド岡山ホームページ www.proudokayama.comよりダウンロードできます。

「性的マイノリティ・LGBTってなに？」という前に 性のあり方(セクシュアリティ)について考えてみましょう

「セクシュアリティ」とは

- セクシュアリティは「からだの性」「こころの性」「好きになる性」「性役割」など多くの物差しで表現されます。
- それぞれの要素は「女」「男」に二分できないグラデーションです。
- これらを含むさまざまな要素で形作られるセクシュアリティは、一人ひとり違います。
- セクシュアリティは多様であり、無理やり変えようとしても変えることはできません。



Q:「女」と「男」は何が違うんだろう？

「女」と「男」の違いはからだの違いなんじゃないのかな？

からだって、外から見ただけではわからないことがたくさんあると思うよ。

からだの性 / 生物学的性

からだの性の発達は染色体、性腺、内・外性器、性ホルモンなどの状態から判断されます。実際には、女性のからだにも、男性のからだにも、さまざまな状態があります。



Q:自分や相手の性別を、どう考えている？

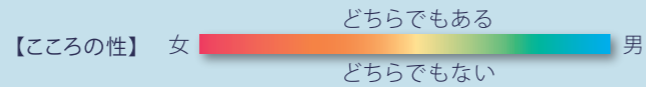
生まれた時から自分は男、くらいにしか考えていなかったよ。

性別って、見た目ですぐ判断しがちだけど、いいのかしら？

からだは女だけど、自分は男だという気がする。性別ってなに？

こころの性 / 性の自己認識 (性自認)

自分自身の性別について、からだの性と同じであると思っている人もいれば、そうでない人もいます。自分は女性である、男性である、どちらでもある、どちらでもないなど、いろいろな感じ方があります。



Q:好きになる相手の性別は、決まっている？

好きになる相手は、異性じゃないの？

同性を好きになる人もいるよ。同性同士の結婚式のニュース、見たことがある。

「好きな人がいて当たり前」って周りの雰囲気に最近ついていけなくて…。

好きになる性 / 性的指向

好きになる相手が異性の人、同性の人、異性の場合もあるし同性の場合もあるという人、誰にも恋愛感情をもたないという人など、さまざまです。



Q:「女」「男」を理由に嫌な思いをしたことはない？

お花を育てるのが好き。でも、友だちから「男のくせに女みたい」とからかわれた…。

着たい服を着られない。スカートは嫌なのに「女の子だから」と言われて…。

性役割 / ジェンダーロール

服装や言葉遣い、立ち居振る舞いなどの「女らしさ」「男らしさ」、学校や職場、また家庭内でも「女として」「男として」の役割を求められることもあります。そのような社会的な性役割にとらわれず、自由に表現する人もいます。

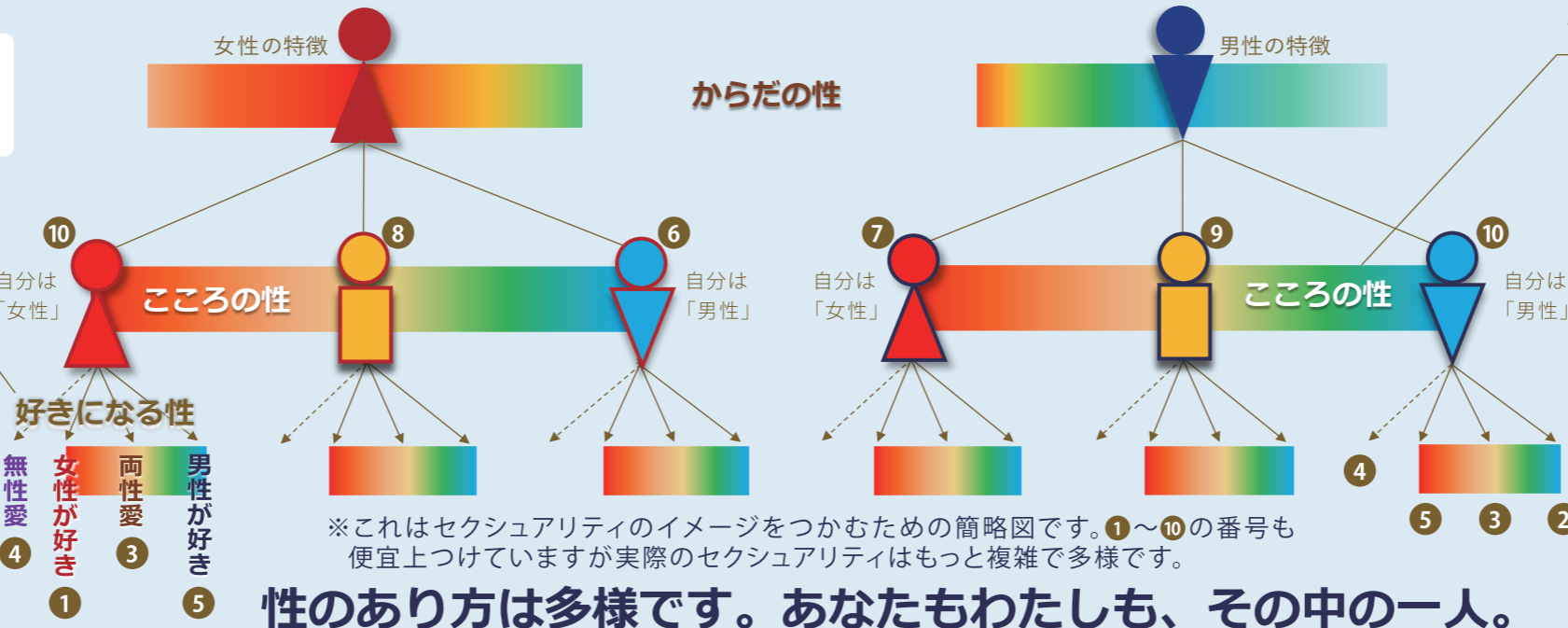


どんな性別の人を好きになるか(性的指向)と自分自身の性別をどう認識するか(性自認)は別の概念だよ。イメージ図で考えてみよう！

性的指向 (Sexual Orientation)

- ホモセクシュアル: 同性を好きになる人(同性愛)
- レズビアン(L): 女性を好きになる女性
- ゲイ(G): 男性を好きになる男性
- バイセクシュアル(B): 好きになる相手が女性の場合も男性の場合もある人(両性愛)
- アセクシュアル(A): 他人に対して恋愛感情や性的欲求を抱かない人(無性愛)
- ヘテロセクシュアル: 異性を好きになる人(異性愛)

※性的指向にはこの他にも多くの概念があります。



性のあり方は多様です。あなたもわたしも、その中の一人。

性自認 (Gender Identity)

- トランスジェンダー (T): からだの性にとらわれないこころの性のあり方をもつ人(性的指向は問わない)
- 性同一性障害: トランスジェンダーのうち、医療的対応を求める人に対する診断名
- F t M (Female to Male): からだが女性、こころが男性のトランスジェンダー
- M t F (Male to Female): からだが男性、こころが女性のトランスジェンダー
- Xジェンダー: 男女どちらでもある、どちらでもない、中間であるなどの感覚をもつ人
- F t X (Female to X): からだが女性のXジェンダー
- M t X (Male to X): からだが男性のXジェンダー
- シスジェンダー: からだの性とこころの性が一致している人

性的マイノリティ(セクシュアル・マイノリティ)

からだの性とこころの性が一致しており、異性を好きになるタイプ(シスジェンダーでヘテロセクシュアル)にあてはまらない人のことを総称してセクシュアル・マイノリティ(性的マイノリティ)と呼ぶことができます。

LGBT

レズビアン(Lesbian)のL、ゲイ(Gay)のG、バイセクシュアル(Bisexual)のB、トランスジェンダー(Transgender)のTを並べたもの。セクシュアル・マイノリティと同様の意味で使われることもあります。

性的マイノリティは約13人に1人

2015年、電通ダイバーシティラボが全国の69,989人を対象とした調査ではセクシュアル・マイノリティは7.6%、2016年に博報堂DYグループLGBT総合研究所が89,366人を対象とした調査では8.0%であると報告されています。

SOGI

Sexual Orientation(性的指向) and Gender Identity(性自認)の略語で、すべての人を含めて考えることができる概念。「LGBT」の表現に当てはまらないと感じる人々に配慮した表現として、セクシュアル・マイノリティと同じ意味で使用される場合もあります。

「こんな先生がいてくれてよかった!」と思ったこと

「これがあれば、もっとよかったかな?」と思うこと

【主に岡山県内の性的マイノリティを対象とした学校生活に関するアンケート調査】より

正しく知る

性は多様であるとみんなが知っていたら、自分も悩まなかったし、性的マイノリティをからかう人も減っていたと思う。(20代前半 バイセクシュアル)

家庭科の先生が授業で同性愛をとりあげて「全然悪いことではない」と言ってくれた時はとても嬉しかった。(20代後半 バイセクシュアル)

先生にカミングアウトしたら先生自身がLGBTについて勉強して、クラスみんなにLGBTの話をしてくれた。(10代後半 レズビアン)

保健の教科書には「異性を好きになる」と書いてあっても、授業の中で先生がひとことフォローしてくれたら、これから先の子どもたちが少しでも楽になると思う。(20代前半 ゲイ)

中学生のころ性別違和という概念を知らず、トランスジェンダーの友だちを周囲と一緒にからかってしまった。知っていればそんなことはしなかったのにと今になって後悔している。(20代前半 ゲイ)



こんな誤解、していませんか。

- 「性的マイノリティって性同一性障害のこと?」
- 「同性愛と性同一性障害は同じ?」
- 「同性愛は趣味?自分で選んだの?」

同性愛は性的指向(どんな性別の人を好きになるか、または誰も好きにならないか)にかかわること。

性同一性障害は、性自認(自分自身の性別をどう認識しているか)にかかわることです。

セクシュアリティは多様で、すべての人に自分らしい個性があります。自分で選んで決めたものではないし、無理やり変えようとして変えられるものではありません。

(前ページ参照)

情報へのアクセス

「性的マイノリティの人々は周囲にもいる」「性的マイノリティでも生きていってかまわない」と思える情報がほしかった。(30代 トランスジェンダー)

小説や映画や漫画など、性的マイノリティが登場する作品を一つ紹介してくれるだけでも当事者は安心すると思う。(20代前半 レズビアン)

保健だよりにLGBTに関する記事があるのを見つけた時は嬉しかった。(10代後半 バイセクシュアル)

図書室などに性の多様性を知る本やLGBT関連の本があったら、自分の本質に早くたどり着けていたかもしれない。(20代前半 トランスジェンダー)

先生に相談できない子どもが支援団体へ自分でアクセスできるような手だて(チラシやポスターなど)があってもいいと思う。(20代後半 Xジェンダー)

「先生と親のためのLGBTガイド」もしあなたがカミングアウトされたなら 遠藤まめた著 2016年 合同出版

当事者の声とともに「LGBTの子どもたちの悩みごと」「教師ができること」などがわかりやすくまとめられています。授業や研修に使える資料や先生向けの書籍、子ども向けの読み物・絵本・DVDなどのデータも充実。

「こころの科学」189 特別企画「LGBTと性別違和」 針間克己編 2016年 日本評論社

LGBTの概念と現状、医療や教育・行政・職場での支援などが詳細に解説されています。より詳しい分析やそれぞれの現場の実情を知ることができます。

先生に相談する時のカミングアウトはとても大きな覚悟と勇気が必要でした。(20代前半 トランスジェンダー)

制服や水着がつかなくて、それを隠して笑って過ごす自分も嫌で、一人になると泣いて自傷行為ばかりしていた。本当に信頼できる大人がいたら相談していたかもしれない。(30代 Xジェンダー)

先生に相談してよかった。自分らしく過ごせるし、制服や水着、宿泊学習などで困った時には学校に相談すると一番いい方法を一緒に考えてくれる。(10代前半 トランスジェンダー)

先生に話す必要はなかった。学校全体に少数者への差別を許さない雰囲気があり、自分らしく過ごせていたから。(20代前半 Xジェンダー)

先生は性別も外見も含めた私らしさをちゃんと理解してくれていたの、わざわざカミングアウトする必要がなかった。(10代前半 Xジェンダー)

自分への特別な配慮は必要なかったの先生に知ってほしいと思わなかったが、「同性愛の人もいて当たり前だよ」ということを、みんなに教えてほしかった。(20代前半 ゲイ)



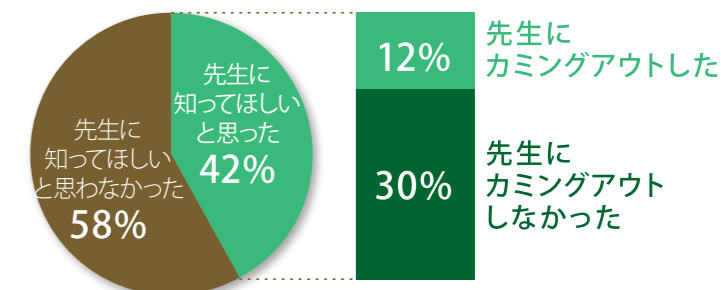
自分のセクシュアリティを誰かに話すことを「カミングアウト」といいます。

カミングアウトする相手は「この人なら信頼できる」と思える人である場合が多いですが、それでも「どんな反応をされるだろう」「他の人にまで知られないか」など大きな不安や緊張を伴います。

カミングアウトは必ずしなければいけないものではなく、誰かに強制されるものでもありません。

人のセクシュアリティを、本人の了解なしに第三者に話すことをアウティングといい、人の尊厳を大きく傷つける行為です。

先生に自分のセクシュアリティを知ってほしいと思ったことはありますか? 実際にカミングアウトしましたか?



「誰が性的マイノリティか」ではなく、「そういう人たちもいて、それは当たり前のこと」と説明すれば理解もしやすいし、当事者本人の気持ちも和らぐと思います。(20代前半 ゲイ)

先生が「男とか女とか同性が好きとか異性が好きとか関係なく、人としてどうであるかが大切だ」といつも話してくれて自分に自信がもてました。(20代前半 ゲイ)

たとえば教室の中で差別発言があった時、「言ってはダメ」と注意して終わるのではなく、その発言の背景にあるものを子どもたちと一緒に考えていけるよう、丁寧に議論を追ってもらえたらと思います。(20代前半 レズビアン)

どんな選択をして生きていくかは自分自身と向き合うしかありません。答えを出させてあげようという関わりではなく、本人の望む生き方をそっと隣で聞いてくれる人がいると心強いと思います。(30代 トランスジェンダー)

先生への期待

「性はグラデーション」大阪市淀川区・阿倍野区・都島区 3区合同ハンドブック <http://niji-yodogawa.jimdo.com/>

「教職員のためのセクシュアル・マイノリティサポートブックVer.3」 <http://www.jtu-nara.com/book.html> (奈良教職員組合) <http://say-to-say.com> (性と生を考える会)

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「子どもの“人生を変える”先生の言葉があります。」 研究代表者 日高庸晴(宝塚大学看護学部) <http://health-issue.jp/f/>

LGBT基礎知識に加え、当事者の声や学校での具体的な場面を想定した対応のヒント・Q&Aなどが数多く掲載されている、現場の先生向けパンフレット。それぞれ下のURLからダウンロードできます。

